

お名前は悠仁^{ひさ}さま^{ひと}

秋篠宮家命名の儀 お印は「高野槇」

六日に誕生した秋篠宮家の男のお子さまの「命名の儀」が十二日午後三時半から、紀子さまと男子が入院している東京都港区の愛育病院で行われ、名前は「悠仁（ひさひと）」に決まった。身の回りの持ち物につける「お印（しるし）」は「高野槇（こうやまき）」が選ばれた。

「悠」にはゆったりとした気持ちで、長く久しく人生を歩んでいってほしいとのご夫妻の願いが込められた。お印の高野槇は日本特産の常緑高木で、大きく、まっすぐに育ってほしいとの気持ちから決めたという。

宮内庁は七月ごろから歴代天皇や近世以降の皇族と重ならない文字について検討し、複数の候補を選択。ご夫妻で相談し、秋篠宮さまが十一日朝、最終的に決めた。宮家のお子さまであるため、幼少時の称号はない。